

# 超解像顕微鏡 SIM/STORM セミナー



日時：10月25日（月） 13:30～15:00

場所：第1セミナー室（明大寺）

演者：(株)ニコンインステック 営業企画部 及川 義朗

「生細胞の構造をより精細に、しかもその動きを観察したい」というのは研究者の普遍の願いです。しかし、これまで光学顕微鏡では光の回折による200nm という解像限界が、大きな壁として立ち上がってききました。

その壁を越える電子顕微鏡には、生体試料を観察できないという制約がありました。

ニコンが新たに発表した「超解像顕微鏡 N-SIM/STORM」はこれまでの光学顕微鏡の限界も、電子顕微鏡の制約も打破して、生細胞をより精細に観察することが可能です。

N-SIM は「構造化照明顕微法」というイメージング法により、光学顕微鏡では不可能だった100nm以下の解像度を実現しました。

N-STORM はローカライゼーション法の一つであるSTORM法を採用し、従来の顕微鏡の約10倍(20nm)の解像度を実現しました。

是非、この機会に超解像の世界をご覧ください。

ご参加お待ちしております。

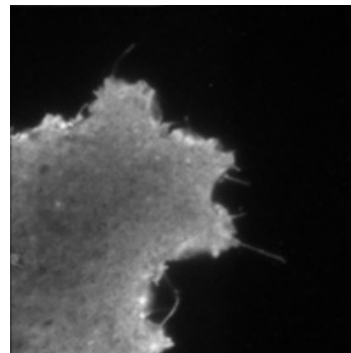
機器の詳細についてはニコンホームページをごらん下さい。

<http://www.nikon-instruments.jp/jpn/page/products/nsim.aspx>

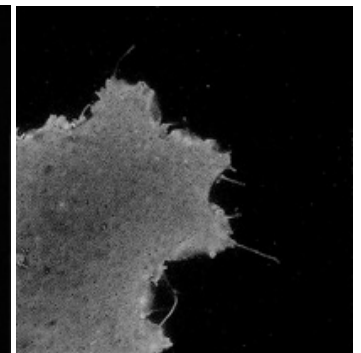
事前申込は不要です。ご自由にご参加ください。

生物機能解析センター・光学解析室 (img@nibb.ac.jp)

従来の顕微鏡での観察

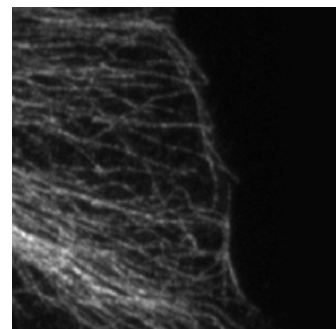


N-SIM での TIRF-SIM 観察

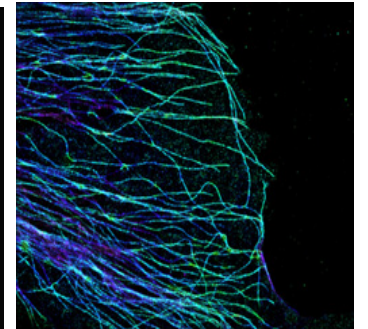


YFP で染色した B16 細胞の細胞膜。N-SIM では膜小胞がはっきり観察できる。

従来の光学顕微鏡での観察



N-STORM での観察



微小管の蛍光画像。Plan Apo 100x oil 使用時。